

業務部速報

No. 54

発行 14. 3. 12

JR東労組 業務部

申16号 2014年度

夏季手当 に関する申し入れ 第1回目交渉!

主旨説明

組合

- 世間相場をつくる自動車や電機が軒並みベアを回答すると報道されている。
- 2014年の賃上げをめぐる状況は、業績の良いところはベアも一時金も出していて、要求に対して満額回答に近い回答となっている。
- 組合員の努力で決算は極めて順調。組合員の利益につながる事が一番である。
- 原則として見ると、賃金上の性格は、ベアと一時金は別ものである。
- 賃金総体をあげる為、ベア満額獲得。さらに夏季手当があると位置付けている。

組合員の努力を認め
満額回答をするべき!



会社

- ◆ 2月の鉄道営業収入は、大雪の影響で対前年99.5%となったものの19,380億円を見込む。
- ◆ 収入は堅調だと思うが、平成19年の19,798億円のピークよりまだ下回っている。
- ◆ 営業利益は微増で、復旧工事を最優先に取り組みすることで、営業費用が増加している。
- ◆ 景気回復基調ではあるが、消費税増税などのリスクが残っている。
- ◆ 夏季手当について、様々な要素を考慮しながら検討していく。

《主な議論》

組合

- 本部には、職場から激励が多く来ている。組合員は「今出さないで、いつ出すのか」というのが組合員の声だ!
- 雪害時は、ご飯も食べられずに復旧にあたった。
- 次の半期に向けて、社員のモチベーションを上げることも会社の責務だ!
- 営業職場は、収入目標達成のため、自爆営業までしている。
- 京浜東北線 川崎駅構内脱線事故が発生し、信頼回復に向けて、多くの組合員が対応に奮闘した。
- 4月1日に新津車両製作所が業務移管され、不安の中で施策を担っている。苦労に報いるべきだ!
- 収入確保のため、サービスの向上にも努力している。その最前線は、グリーンスタッフである。グリーンスタッフは経営を支えている大事な社員だ!

夏季手当を緊急に申し入れた意義を踏まえ、
正当な判断を求める!

会社

- ◆ 社員の皆さんが安全・安定輸送を取り組み、様々な災害の中での奮闘や努力があって業績の結果がでてきていることについては、組合の主張と認識は一致している。
- ◆ 期末手当は業績を反映する要素が強い。業績を踏まえる比重は多くなる。
- ◆ 世間や政府の動向など全体を見て慎重に判断する。
- ◆ 脱線事故は重い事象で危機感をもっている。
- ◆ グリーンスタッフの思いは受け止め認識している。

回答時期が3月14日なので、
早期に回答できるように
目指していく。